

The Japan Association of Chinese Language Education

中国語教育学会会報

第61号(通巻86号) 2022年1月14日発行

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院 人文学研究科
丸尾誠研究室内

中国語教育学会

Website <http://www.jacle.org/>

Email headoffice@jacle.org

郵便振替口座 00110-1-191152

目次

1. 第20回全国大会発表募集
2. 2021年度第2回理事会報告
3. 事務局からのお知らせとお願い

1. 第20回全国大会発表募集

中国語教育学会第20回全国大会は、2022年6月4日（土）、5日（日）に開催されます。宮崎大学で対面方式での開催を予定しておりますが、状況を見てオンライン方式に変更されることもあります。開催方法につきましては3月上旬ごろまでに確定し、お知らせする予定です。大会概要は下記のWebサイトをご覧ください。

<http://www.jacle.org/annual20/>

第20回全国大会の発表申し込み期間は2022年2月1日から2月20日23:00（日本時間）です。発表申し込み前に必ず下記の学会Webサイトにて最新の発表応募規定をご確認ください。

<http://www.jacle.org/application2022/>

発表申し込みは2022年1月31日の時点で2021年度までの会費を納入済みの中国語教育学会会員に限ります。会費をまだお納めでない方は、早めにご入金ください。なお、本学会の年度は4月に始まり、翌年3月に終わります。2021年度は4月1日から3月31日までです。

WEB版会員名簿（会員情報管理システム）を通じて、会員ご自身で会費納入状況を確認することができます。

<https://a-youme.jp/jacle/member2/>

加えて、第20回全国大会開催に向けては、会員の皆様の参加に関するご意向をWebによるアンケート形式でお聞かせいただきたいと考えております。結果は対面で開催する際の準備以外の目的では使用いたしません。また、個人情報保護法に基づき、大会準備委員会内で適切に管理いたします。以下のURL、あるいは、QRコードを用いてご回答ください。よろしくお願いいたします。

URL : <https://forms.gle/3bRViMd7CQoUK48E9>



QRコード :

2. 2021年度第2回理事会報告（以下の報告内の日程等は、理事会当日における報告内容です）

2.1. 開催日時・方式・出席者

日時：2021年12月5日（日）13:30－16:30

方式：Zoomを使用したWeb会議

出席者（敬称略）：

丸尾誠、三宅登之、阿部慎太郎、植村麻紀子、加藤晴子、清原文代、佐々木勲人、謝平、
鈴木慶夏、西香織、氷野善寛、平井和之、村上公一（以上、理事）

長谷川賢（『中国語教育』20号（2021年度）編集委員会委員長）

中田聡美（デジタルリソース委員会委員長）、中村俊弘（第19回全国大会準備委員会委員長）

藤井久美子（第20回全国大会準備委員会委員長）、勝川裕子、趙宏剛、望月雄介（幹事）

陳淑梅（次期理事候補）、紅粉芳恵（次期理事候補）

欠席者（敬称略）：

山田眞一、藤井達也、古川裕

2.2. 報告事項

2.2.1. 『中国語教育』第20号査読結果について

全部で16本の投稿があり、うち14本を受理したこと、および依頼原稿3本、論文2本、実践報告3本が掲載予定であることが報告された。

（2021年度第2回編集委員会は、2021年12月5日（日）10:00～11:30にZoomによるリモート方式で開催された）

2.2.2. 第19回全国大会(2021年度)開催報告（会計）

第19回全国大会の会計収支について、以下の報告がなされた。

収 入	
大会開催費（事務局より）	¥400,000
<hr/>	
計	¥400,000

支 出

大会案内発送費（あゆみコーポレーション, 523通, 印刷費・郵送費・発送業務）	¥79,180
Zoom契約料（大規模オプション¥7,370×3, プロ契約¥2,200×4）	¥30,910
講師料（講師（非会員）1名×¥20,000）	¥20,000
人件費（非会員教員・大会当日1名×2日×¥15,000） （非会員教員・事前準備1名×2日×¥15,000）	¥60,000
源泉徴収（¥852×1, ¥2,042×1）	¥2,894
振込手数料（大会案内発送費・郵送費ほか振込分）	¥880
郵送費（大会備品郵送代）	¥1,320
<hr/>	
計	¥195,184
残高（事務局に返金）	¥204,816

2.2.3. 第20回全国大会(2022年度)準備委員会準備状況報告

同大会の準備状況について、以下の報告がなされた。なお、大会準備委員として次の10名が承認された。

藤井久美子（委員長）、安藤好恵、浦山あゆみ、勝川裕子、鈴木慶夏、張婧禕、中田妙葉、丸尾誠、宮本大輔、森山美紀子（さらに次期事務局から幹事1名が加わることになる）

1. 開催時期と会場について

日時：2022年6月4日（土）、5日（日）

◎会場（開催方法）について

…2022年3月上旬までにコロナ禍の状況を見て開催方法を確定する。なお、案1は宮崎観光コンベンション協会からの補助金（60万円を上限）を前提とした計画である。

案1：対面方式（会場は、1日目は宮崎観光ホテル、2日目は宮崎大学）

案2：対面方式（会場は、2日間ともに宮崎大学）

案3：オンライン方式（宮崎大学をベースに発信）

*会場について

- ・宮崎大学木花キャンパス（〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地）
- ・宮崎観光ホテル（〒880-8512 宮崎県宮崎市松山1-1-1 代表電話番号：0985-27-1212）

2. プログラム（案）

【1日目（6月4日）】

基調講演

講演者①：興水優先生（本学会顧問）

タイトル未定

講演者②：玉岡賀津雄先生（名古屋大学名誉教授・東華大学名誉教授）

タイトル「大学を退職した心理言語学者が中国語を勉強して思ったこと」

シンポジウム「中国語教育学会の20年と21世紀の第二外国語教育再考」

登壇者：宮崎大学初修外国語（第二外国語）教員（中国語以外は、独・仏・韓）

【2日目（6月5日）】

（1）分科会発表：発表時間20分、質疑応答10分

（2）ポスター発表：発表時間40～50分

3. 今後のスケジュール（案）

2021年 12/19 Webページに第20回全国大会の告知開始

2022年 1/14 会報に大会案内と発表応募要項を掲載して発行（学会事務局）

+ Webアンケート

（対面開催した場合の会員の参加に関する意向調査：学会・懇親会への参加および専用バスの利用についての意向を会員に尋ね、ホテルでの開催が可能かどうかの検討材料とする。）

2/1～20 発表申込受付期間

3/10 発表採択者の決定、開催方法の決定

4/20 大会プログラムの発送

4/22 予稿集原稿締め切り

4/24～5/16 予稿集編集

4/24～5/13 事前申込期間（参加申込の後のキャンセル（振込手数料を除いた参加費の返金）は5月13日受付終了日までなら可）

5/14～21 Web掲載開始

司会担当者にメールで担当分のみ別途送付

6/4～5 大会当日

紙の予稿集の廃止に伴い、予稿集原稿の締め切り日をもっと遅らせることができるといった点などを考慮し、大会準備委員会で改めてスケジュールを再検討することとなった。

4. 学会託児について

各自で託児所を手配して預き、後日領収書を提出してもらう。学会が定める補助金額の範囲内で、託児料金の半額までを学会が補助する。学会が補助する上限額は宮崎市の託児所の時間費用を参考に決定する予定。なお、学会託児に関する補助は学会員のみとする。（託児に関する補助は宮崎市周辺で

も居住地周辺でも可。ただし、補助は学会開催の2日間に限る。) 上限額などの詳細は今後検討。

5. その他

(1) 発表の種類と応募方法

発表形態は1) 分科会発表、2) ポスター発表のいずれかとする。応募は大会準備委員会が指定する期間に、「申込表」と「発表要旨」(1000字)を提出する。

(2) 発表応募時期

理事会終了後、Webページ、会報等で広報を開始し、2022年2月1日から2月20日23:00(日本時間)の期間に申し込みをメールで受け付ける。

(3) 大会参加費について

会場(開催方法:案1~3)により異なる。

案1: 対面方式(会場は、1日目は宮崎観光ホテル、2日目は宮崎大学)

大会参加費: 会員2,500円/非会員3,000円/当日3,000円

懇親会費(専用バス込): 会員2,500円/非会員3,000円/当日3,000円(ただし、当日申込の場合は専用バス(全行程)を含まない。)

出店料: 3,000円(会員団体)、5,000円(非会員団体)

弁当は1日目、2日目共に用意しない。理事ほか大会関係者も両日ともに各自で用意する。

案2: 対面方式(会場は、2日間ともに宮崎大学)

大会参加費: 会員2,500円/非会員3,000円/当日3,000円

懇親会は開催しない。

出店料: 3,000円(会員団体)、5,000円(非会員団体)

弁当は1日目、2日目共に用意しない。理事ほか大会関係者も両日ともに各自で用意する。

案3: オンライン方式(宮崎大学をベースに発信)

大会参加費は無料。参加は事前申込のみとする。

出店はオンラインで行う。出店料: 無料(会員団体)、2,000円(非会員団体)

理事ほか大会関係者の弁当は両日ともに各自で用意する。

(4) 予稿集について

「デジタル版」のみを作成。発表予定者には「執筆要領」に従いデータの提出を求める。

デジタル版予稿集は大会およそ1週間前から学会Webページに掲載。

デジタル化に際して発表申込時に「申込書」に「電子化してウェブで公開することに同意する」という旨の一文を入れ、事前に同意をとる。

(5) 懇親会・専用バスについて

・開催方法が案1の場合

懇親会は宮崎観光ホテルで、バイキング形式（食べ放題・飲み放題付）で開催する。専用バスは次の3つから選択可

①1日目（6月4日）11時半ごろ宮崎空港から宮崎観光ホテルまで。

②2日目（6月5日）朝、宮崎観光ホテルから宮崎大学まで。

③2日目（6月5日）16時ごろ宮崎大学から宮崎空港まで。

各行程ともに大型バス1台（50人乗り）を予定。普通に乗ると①390円、②610円、③直通無。最寄りのバス停（空港まで徒歩15分程度）360円

・開催方法が案2の場合

懇親会は開催しない。専用バスの運行は無い。

（6）キャンセルについて

事前申込をした人が参加のキャンセルを求めた場合、（振込手数料を除いた）参加費の返金は、5月13日受付終了日までなら可。

（7）同一あるいは類似メンバーが複数の発表をする場合

同一あるいは類似メンバーが複数の発表をする場合、それぞれの発表内容が異なれば問題ないが、同じ内容であれば認めないこととしたい。したがって、募集要項に「同一内容の発表を分割して発表することは原則として認めない」の文言を入れる。

（8）発表時の使用言語

発表の申し込みの際に発表時の使用言語を書き込む欄を作る。申し込んだ使用言語以外は発表時認めない。

（9）宮崎大学多言語多文化教育研究センターとの「共催」の可能性について

1日目シンポジウムでは、開催校である宮崎大学の多言語多文化教育研究センターの教員にもご登壇いただくことにした。

2.2.4. 第21回全国大会（2023年度）について

第21回（2023年度）全国大会開催校および大会準備委員会の委員長が以下の通り内定していることが報告された（敬称略）。

日時：未定（2023年5～7月ごろ）

場所：東海大学湘南キャンパス（〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1）

大会準備委員会：森山美紀子（委員長）、他の委員は人選中

2.2.5. 2021年度研究会開催報告および今後の研究会開催予定【報告事項】

今年度の研究会について、以下の報告がなされた。

第1回研究会（西日本・東日本 合同主催） 西日本担当

日時：2021年8月28日（土）

開催方法：Zoomオンライン

12:30 Zoom meeting オープン

13:00-13:30 許挺傑（大分県立芸術文化短期大学）

中国語の発音指導期におけるブレンド型授業導入の実践報告
—対面授業・Zoom授業・ブレンド型授業の3者の比較から—

13:30-14:00 楊彩虹（北海道大学）

オンラインにおける中国語作文授業の実践研究

14:15-14:45 樂大維（拓殖大学）

臺灣籍華語講師在日本華語文教學上的實踐—以拓殖大學中文系為例—

14:45-15:15 蘇珏昀（京都大学・院）

汉语的新兴语气词

参加者数：53名

第2回研究会（西日本・東日本 合同主催） 東日本担当

日時：2021年12月11日（土）

13:00-13:05 諸注意

13:05-13:35 張可蓉（関西大学・院）

基于“可理解性(comprehensibility)”在会话中日本汉语学习者和母语话者产生“不理解
(incomprehensibility)”情况的考察

13:40-14:10 中西千香（立命館大学）

中国語講読授業にレアリアを取り入れる

14:10-14:20 休憩

14:20-14:50 許賢科（名古屋大学・院）

状补可换位结构中的功能分布及对汉语教学的启示
—以形容词“多”、“晚”与动词的组合为中心—

14:55-15:25 張文青（立命館アジア太平洋大学）

“会”、“能”、“可以”と可能補語との補完的表現の教授法について
—フレーズ・シャドーイング訓練法を用いた練習の効果—

第3回研究会は2022年2月26日（土）または27日（日）を予定。

発表者は既に2名決定済み。追加募集するかは今後要検討。

2.2.6. デジタルリソース委員会報告

デジタルリソース委員会の活動について、以下の報告がなされた。

2.2.6.1. 学会Webサイトの更新について

デジタルリソース委員会では、定期的にWebサイトの更新作業を実施しており、2021年6月に開催された前回の理事会以降、以下の点について更新作業を行っている。

『中国語教育』投稿規程」…投稿規程を一部改訂。修正版の投稿票・チェックリスト、テンプレートファイルを掲載。

「中国語教育学会著作権規程」…著作権規程、著作物申請書を掲載。

「第19回全国大会特設ページ」…第19回全国大会特設ページへの資料追加。

「研究会」…2021年度第1回、第2回研究会の開催通知を掲載。

「会報」…『中国語教育学会会報』第60号を掲載。

2.2.6.2. イベント告知および大学公募情報の掲載依頼

イベント告知および大学公募情報の掲載依頼があり、いずれも学会Webサイトに掲載することに問題のない内容であると判断し、デジタルリソース委員長が採否を決定、委員会で掲載した。

【イベント告知】

- オンラインセミナー：ICTを活用した中国語授業（7/2～7/31）
- ワークショップ：日本語母語話者のための中国語教育文法を考える ―数量詞をどう学ぶか―（7/2～7/4）
- オンラインセミナー：Macを使うと中国語の学習がラクになる（かも）：中国語学習者と中国語教員のためのMac入門（8/12～9/10）
- スピーチコンテスト：第7回城西大学中国語スピーチコンテスト（9/14～10/23）
- ワークショップ：日本語母語話者のための中国語教育文法を考える ―応答表現をどう学ぶか―（9/21～10/16）

【大学公募情報】

- 公募情報：兵庫県立大学（7/2～8/30）
- 公募情報：関西大学（9/29～10/22）
- 公募情報：文教大学（10/8～11/12）
- 公募情報：東北大学（10/29～11/24）
- 公募情報：立命館大学（11/18～12/16）

（ ）内は掲載期間

【参考】イベント情報等の掲載フロー

- 主催行事等，学会が主体であるような告知
各担当者 → デジタルリソース委員会
- 会員からの関連する他団体等の情報，公募情報
会員 → 事務局 → デジタルリソース委員会（採否の決定は委員長）

○非会員・他団体等からの直接の掲載依頼

非会員の個人や団体等 → 事務局 → デジタルリソース委員会 → 理事会（持ち回り）で可否審議
→（可の場合）デジタルリソース委員会で掲載、（否の場合）デジタルリソース委員会から回答

2.2.6.3. Webページのアップデート作業およびWordPressとサーバーのバージョンアップによる不具合調整について

前回の理事会において、Webページのアップデート作業およびWordPressとサーバーのバージョンアップによる不具合調整を実施することが承認されたが、11月時点では実施できていない。2022年2～3月に実施することを予定している。またWebデザインを変更することも予定しているが、時期は未定である。現在Webページに掲載されている「中国語教育学会著作権規程」をPDF版から他の会則と体裁をそろえたかたちにするよう依頼があったが、Webデザインの変更を予定しているため、それにあわせて体裁をととのえることとする。

2.2.7. 対外交流の動きについて

2021年度第1回理事会以降から現在までの対外交流について、学会誌の寄贈状況が報告された。

・世界華語文教育学会（台湾）から雑誌『華語文教学研究』の「第18巻第2期 2021年6月発行」および「第18巻第3期 2021年9月発行」が寄贈されてきた。

2.2.8. 会員動向および会費納入状況（会費未納による除籍者報告）

会員動向および会費納入状況について、報告がなされた。内訳については3.1を参照のこと。

2.2.9. 会員の逝去

会員の逝去について、以下の報告がなされた。

本学会顧問であり、以前、会長を務められた荒川清秀氏（愛知大学名誉教授）が2021年8月14日に逝去されました。71歳でした。（2021年9月に発行の『中国語教育学会会報』第60号に記載）

2.3. 審議事項

2.3.1. 会長および理事の選出について

2022年～2023年理事選挙の開票結果（開票証明書は巻末の【資料1】を参照）に基づき、「会長、理事の選出に関する内規」の規定により理事候補とされる会員が以下の通り提示され、古川裕会員、中西千香会員を除く9人の候補者が次期理事就任を承諾した。その上で、会長経験者を除き得票数が1位であった氷野善寛会員の次期会長就任が決定した。

投票数：142

有効投票数：136

無効投票数：6（会員氏名欄に氏名がなかったもの：4、投票期日を過ぎてから届いたもの：2）

開票結果（票数の後ろの※は会長経験者。票数が同数の場合は氏名の五十音順で配列。以下、敬称略。）

1位：清原文代46※

2位：丸尾誠44※

3位：氷野善寛37

3位：古川裕37※

5位：加藤晴子36

6位：鈴木慶夏34

7位：紅粉芳恵32

8位：植村麻紀子29

9位：陳淑梅25

10位：中西千香22

10位：三宅登之22※

2.3.2. 除籍者の投票権について

除籍者の投票権について、審議および投票による採決の結果、3年目の4月1日に未納者は除籍となる方針が決定し、「第5条（前略）2年間にわたり納入のない場合は、3年目の4月1日を以て会員資格を失い、除籍となる。」と除籍日時を明記するよう会則を変更する運びとなった。この会則の改定は、来年度の総会で承認される必要がある。

2.3.3. 『中国語教育』編集委員会関連事項

2.3.3.1. 『中国語教育』第21号（2022年度）編集委員選出について

『中国語教育』第21号（2022年度）編集委員の候補について、以下のように承認された。

〈2年目〉

相原里美（関西外国語大学）【委員長】

杉江聡子（札幌国際大学）

馮戦兵（梅光学院大学）（中国語母語話者）

謝平（福岡大学）【理事枠】

〈1年目〉

関光世（京都産業大学）

石井友美（岡山大学）

王安（法政大学）（中国語母語話者）

次期理事より1名【理事枠】

2.3.3.2. 要旨における英単語の字数カウントについて

今年度の投稿論文において、要旨本文の英単語を1語1字とカウントしたために、規定の字数を超えた例が見られた。現在の執筆要領には、要旨本文に英文や英単語が混じる場合の字数カウントについての規定がないため、執筆要領「4.原稿の構成」を以下のように加筆修正することが承認された。

(新たな文言)

●要旨は、本文が日本語の場合は中国語、本文が中国語の場合は日本語を使用し、400字以内で作成する。本文に英文や英単語が混じる場合、アルファベット1字を1字としてカウントする。

2.3.4. デジタルリソース委員会2022～2023年度委員選出について

デジタルリソース委員会2022～2023年度委員が、以下の通り承認された。

委員長：伊藤大輔（目白大学）

委員：田邊鉄（北海道大学）、中田聡美（大阪大学）、李光曦（大阪大学・院）

3. 事務局からのお知らせとお願い

3.1. 会員動向および会費納入状況

(以下、敬称略)

(1) 会員数（2021年11月24日現在）：計542名

(通常会員508名、名誉会員 34 名／個人会員521名、団体会員 21名)

(2) 新入会員（2021年5月16日～2021年11月24日）：計19名

孟醒（名古屋大学・院）、亜東書店、河原畑希久（立命館アジア太平洋大学）、王彤（東洋大学附属牛久高等学校・非）、佐々木盛海（株式会社ラーナーズハイ）、村田和弘（北陸大学）、張素娟（関西学院大学）、劉玕（北海商科大学）、李娜（東進ビジネススクール・非）、林如（お茶の水女子大学・院）、林小燕（私立小中学校）、中田妙葉（東洋大学）、樊穎（城西大学）、舒志田（東洋大学・非）、郭悦欣（明治学院大学・非）、三宅真理（慶應外語、慶應義塾湘南藤沢高等部・非）、関咲文（行知学園・非）、王棟（東京外国語大学・院）、藤原祐子（岡山大学）

(3) 退会者（2021年5月16日～2021年11月24日）：計4名

(4) 除籍者：計 17 名

靳衛衛（関西外国語大学）、常次莉恵（神戸大学・非）、中文礎雄（立命館大学）、好並晶（近畿大学）、三枝茂人（名古屋外国語大学）、林虹瑛（神田外語大・非）、韓雲冬（岡山商科大学）、張筱平（愛知大学）、孫徳坤（愛知県立大学）、簡靖倫（大阪大学・院）、程遠巍（立命館大学）、王玉（大東文化大学）、林銘珊（北京大学・院）、川村邦夫（大阪市立大学・院）、梁明粵（早稲田大学・院）、張正（東京外国語大学・院）、王蓓淳（開南大学）

(5) 会費納入状況（2021年11月24日現在）：2,281,000円

3.2. 会費納入のお願い

平素より会費納入にご協力いただきありがとうございます。

会費未納の方は、お早めに納入くださるようお願い申し上げます。会費納入状況は会員自身でWEB版会員名簿（会員情報管理システム）にて確認することができます。

<https://a-youme.jp/jacle/member2/>

4月に郵送した払込取扱票を紛失された場合は、郵便局に備え付けの「払込取扱票」を使用して、下記の郵便振替口座に送金してください（その場合には、通信欄に氏名および会員番号を、会員番号がわからなければ、氏名に加えて学会に登録している住所を必ずご記入ください）。

[口座記号－口座番号] 00110-1-191152

[加入者名] 中国語教育学会

3.3. 登録情報の変更について

学会登録情報（住所・所属・メールアドレス等）に変更がある場合には、会員自身が本学会サイトの「WEB版会員名簿・変更手続き」にログインして、ご自身で変更していただきますようお願いいたします。

<https://a-youme.jp/jacle/member2/>

WEB版会員名簿（会員情報管理システム）の運用については、あゆみコーポレーションに委託しております。WEB版会員名簿に関するお問い合わせは下記のあゆみコーポレーションまでお願いいたします。

〒550-0001

大阪市西区土佐堀1丁目4-8 日栄ビル703A

あゆみコーポレーション内 中国語教育学会事務局事務代行

E-Mail : support@jacle.org

TEL.06-6441-5260（代） FAX.06-6441-2055（代）

あゆみコーポレーションは複数の学会の事務局代行を行っており、電話番号、ファックスとも他学会と共通で使用しているため、ご連絡の際には「中国語教育学会」についての問い合わせであるということをお伝えください。

選挙結果

記

【選挙名】中国語教育学会 2022 年～2023 年理事選挙

【開票日時】2021 年 11 月 20 日（土）9 時より

【開票場所】名古屋大学文系総合館 6 階 601 研究室

投票数：142

有効投票数：136

無効投票数：6（会員氏名欄に氏名がなかったもの：4、投票期日を過ぎてから届いたもの：2）

開票結果

1 位：清原文代 46

2 位：丸尾誠 44

3 位：古川裕 37

3 位：氷野善寛 37

5 位：加藤晴子 36

6 位：鈴木慶夏 34

7 位：紅粉芳恵 32

8 位：植村麻紀子 29


9 位：陳淑梅 25


10 位：中西千香 22

10 位：三宅登之 22

以上の選挙について、正当な手続きに基づき、正確かつ公正な開票がなされたことをここに証する。

開票立会人

日下部 直美 

武田 みゆき 以上